



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月7日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長執行役員(氏名) 寺田 健志
 問合せ先責任者(役職名) 上席執行役員管理本部長(氏名) 植田 祥裕 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	79,998	△2.3	7,419	△3.0	7,879	△4.6	4,944	△12.0
2019年3月期第3四半期	81,850	9.9	7,650	36.0	8,255	34.4	5,618	40.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 5,451百万円(73.5%) 2019年3月期第3四半期 3,141百万円(△52.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	210.28	185.60
2019年3月期第3四半期	246.35	210.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	114,572	69,858	61.0
2019年3月期	112,661	64,548	57.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 69,858百万円 2019年3月期 64,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	35.00	65.00
2020年3月期	—	32.50	—		
2020年3月期(予想)				32.50	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△2.7	9,600	1.2	10,200	1.5	6,800	0.1	294.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	26,731,415株	2019年3月期	26,090,580株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	3,002,640株	2019年3月期	3,001,554株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	23,513,924株	2019年3月期3Q	22,806,918株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しているものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速などにより、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、中期経営計画「BRIGHT-2020」の2年目を迎え、引き続き、「新成長エンジンの創出」、「海外収益基盤の確立」および「事業構造改革の完遂」の3つの基本方針に基づき、具体的な施策をさらに進めました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、799億9千8百万円と前年同期比2.3%の減少となりました。また、利益面におきましては、営業利益は74億1千9百万円と前年同期比3.0%の減少、経常利益は78億7千9百万円と前年同期比4.6%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は49億4千4百万円と投資有価証券評価損計上等の影響もあり前年同期比12.0%の減少となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりです。

<基礎化学品>

クロール・アルカリは、半導体・電子材料および紙パルプ向け等の分野で需要が減少したため、売上高は減少しました。エピクロルヒドリンは、国内向けが堅調に推移するとともに、海外向けも中国の環境・安全規制強化の影響により販売数量が増加したため、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は361億7千3百万円と前年同期比2.0%の減少となりました。

<機能化学品>

アリエーテル類は、中国を中心にシランカップリング剤用途向けで販売数量が伸び、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、UVインキ用途向けを中心に販売数量は増加したものの、為替の影響等により、売上高は前年度並みとなりました。合成ゴム関連につきましては、エピクロルヒドリンゴムは世界的な自動車生産台数減少の影響を受けましたが、アクリルゴムは国内外で新規顧客開拓および新規用途開発に注力し市場での採用がより一層拡大しました。

医薬品精製材料は、国内並びに韓国向けの高脂血症治療薬向け等の需要が拡大しました。また、液体クロマトグラフィー用カラム・分析装置では、韓国および中国向けのカラム販売が好調に推移しました。医薬品原薬・中間体は、国内向けでは感染症治療薬中間体、抗結核薬中間体およびバイオ医薬品用原料の販売、海外向けでは血管拡張剤中間体の販売が拡大しました。また、ジェネリック医薬品原薬の輸入販売が増加しました。

一方で、カラーレジスト等液晶関連は、中国での液晶パネル向け販売数量が減少したため、売上高は減少しました。グラスファイバーは、国内の電子材料向け販売数量が減少したため、売上高は減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は312億4千5百万円と前年同期比3.2%の減少となりました。

<住宅設備ほか>

生活関連商品の販売は順調に推移しましたが、建材事業等の減少により、住宅設備ほかの売上高は125億7千9百万円と前年同期比0.8%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、3.0%増加し702億3千3百万円となりました。これは、主として有価証券が18億円、電子記録債権が14億8千7百万円、たな卸資産が12億3千8百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が14億7千7百万円、現金及び預金が12億5千8百万円それぞれ減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、0.2%減少し443億3千8百万円となりました。これは、主として無形固定資産が2億5百万円、繰延税金資産が9千6百万円、有形固定資産が8千4百万円それぞれ減少し、投資有価証券が3億2千7百万円増加したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、1.7%増加し1,145億7千2百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、10.6%減少し287億9千万円となりました。これは、主として未払法人税等が18億4千7百万円、1年内償還予定の新株予約権付社債が14億6千4百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、0.1%増加し159億2千4百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が4億8千3百万円増加し、役員退職慰労引当金が3億9千1百万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、7.1%減少し447億1千4百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、8.2%増加し698億5千8百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,876	10,618
受取手形及び売掛金	29,268	27,791
電子記録債権	3,508	4,995
有価証券	12,499	14,299
商品及び製品	7,050	7,339
仕掛品	1,643	2,026
原材料及び貯蔵品	1,827	2,393
その他	685	910
貸倒引当金	△140	△141
流動資産合計	68,219	70,233
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	10,442	9,153
その他(純額)	11,520	12,724
有形固定資産合計	21,962	21,878
無形固定資産		
のれん	864	726
その他	474	406
無形固定資産合計	1,338	1,133
投資その他の資産		
投資有価証券	19,642	19,969
繰延税金資産	442	346
その他	1,062	1,017
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	21,141	21,326
固定資産合計	44,442	44,338
資産合計	112,661	114,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,586	15,219
短期借入金	7,767	7,767
未払法人税等	2,280	433
賞与引当金	889	455
1年内償還予定の新株予約権付社債	1,464	—
その他	4,211	4,914
流動負債合計	32,197	28,790
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
繰延税金負債	1,094	1,577
役員退職慰労引当金	651	260
退職給付に係る負債	3,009	2,982
その他	1,160	1,103
固定負債合計	15,915	15,924
負債合計	48,113	44,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,150	15,870
資本剰余金	13,667	14,387
利益剰余金	36,942	40,307
自己株式	△6,679	△6,682
株主資本合計	59,080	63,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,781	6,281
繰延ヘッジ損益	1	9
為替換算調整勘定	11	△15
退職給付に係る調整累計額	△327	△301
その他の包括利益累計額合計	5,467	5,974
純資産合計	64,548	69,858
負債純資産合計	112,661	114,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	81,850	79,998
売上原価	64,145	62,916
売上総利益	17,704	17,082
販売費及び一般管理費	10,053	9,662
営業利益	7,650	7,419
営業外収益		
受取利息	19	9
受取配当金	389	418
持分法による投資利益	29	28
為替差益	234	—
その他	87	145
営業外収益合計	760	601
営業外費用		
支払利息	79	71
為替差損	—	48
その他	76	22
営業外費用合計	155	142
経常利益	8,255	7,879
特別利益		
固定資産売却益	139	0
投資有価証券売却益	—	178
特別利益合計	139	179
特別損失		
固定資産除却損	288	216
投資有価証券評価損	—	354
関係会社株式評価損	—	252
その他	—	3
特別損失合計	288	827
税金等調整前四半期純利益	8,106	7,231
法人税、住民税及び事業税	2,492	1,946
法人税等調整額	△4	340
法人税等合計	2,487	2,286
四半期純利益	5,618	4,944
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,618	4,944

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,618	4,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,528	500
繰延ヘッジ損益	39	7
為替換算調整勘定	△11	△27
退職給付に係る調整額	24	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△2,476	507
四半期包括利益	3,141	5,451
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,141	5,451
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	36,893	32,278	12,678	81,850	—	81,850
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	50	413	481	△481	—
計	36,911	32,329	13,091	82,331	△481	81,850
セグメント利益	4,257	4,065	239	8,561	△911	7,650

(注) 1 セグメント利益の調整額△911百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	36,173	31,245	12,579	79,998	—	79,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	67	606	689	△689	—
計	36,187	31,313	13,186	80,687	△689	79,998
セグメント利益	3,709	4,233	358	8,301	△881	7,419

(注) 1 セグメント利益の調整額△881百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用である。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。